

FP的視点で人生設計を考える

～幸運の女神にあるのは前髪だけ?～

2015年は、みなさんにとってどんな年になるのでしょうか?
「今年こそ(も)、幸運をつかめますように!」
初詣にそんな願いを賽銭に託して、お祈りをした人もおられるかも知れませんが、
さて、ではその「幸運」はどこからどんなタイミングでやってくるのでしょうか?
みなさんは、「幸運の女神には、前髪しかない」という言葉をご存知ですか?
イタリアの有名な芸術家レオナルド・ダヴィンチの言葉だそうです、
幸運の女神には前髪がなく、後ろ髪はない、つまりチャンスはほんの一瞬で過ぎ去ってしまうので、そのタイミングを逃したら幸運の女神は振り返ってくれないというたとえ話です。
「どうしよう、どうしよう」と慎重に考えすぎているうちに絶好のチャンスを逃してしまい、2度とチャンスは巡ってこない。いえ、そのチャンスを逃してしまっていることすら気づかないということもあるかも知れません。
では、自分でそのチャンスを引き寄せ、幸運をつかみ取るにはどのようにしたらいいのでしょうか?
私は仕事柄、様々な方とお目にかかる機会があります。そのなかで事業に成功された経営者や資産家の方々ともお話をすることがありますが、そんな方々に、「あなたの成功の秘訣は何だと思われますか?」と

話を振ってみると、多くの方は決まって「いやいや、たまたま運が良かっただけです」と、謙遜されたような言葉が返ってきます。「えっ? たまたま運が良かっただけで、人生が上手く行っているのですか?」と、思わず聞き返してしまいそうになるくらいですが、実はそこに真実が隠されているような気がします。
自分の人生を思うように生きている人は、日頃から自分はこの生き方をしたいという具体的な問題意識を持って生活しているので、自分の関心事に近いものがあれば自然に(たまたま)それを察知して、運命的な出会いがあったり、ビジネスを軌道に乗せる金脈を掘り当ててくるような出来事に遭遇しているのです。
つまり、たまたま運が良かったという人は、それなりの問題意識を持って、来たるときに備える準備があったからだと言えるのです。昔からの諺に「果報は寝て待て」というものもありますが、そういう意味で言うと果報は寝て待つものではなく、練って待つものなのかも知れませんね。
(文責:石野)



～豊かな人生を提案するライフナビゲート情報誌～

LIFENAVI

キーストーン
ライフナビ通信
2015年
雪月花号

将来の見通せない時代だからこそ、頼りになるパートナーとして

新年あけましておめでとうございます。

2015年が始まりましたが、今年はどうなるのでしょうか?

いえいえ、ちょっと表現を変えてみましょう。

2015年がいよいよスタートしましたが、今年をどんな年にしましょうか?

受け身の表現から能動的な表現に変えると、出てくる答えはずいぶん違ったものになるような気がします。

先行き不透明な今のこのような時代は、「どんな年になるのでしょうか?」という質問を投げかけられると、

思わず不安な予感が先行してしまいがちなものです。

それより、「どんな年にしましょうか?」と主体的な考え方を、

前向きでワクワクするような一年を迎えることをイメージできれば、きっと心の持ちようも変わってくるはず。

「人生楽しんだもの勝ち!」

みなさまの幸せなライフプラン作りを今年もスタッフ一丸となって応援させていただきます。

みなさまにとって、2015年が素晴らしい年となりますように。

株式会社キーストーン・株式会社キーストーンFPコンサルタンツ
代表取締役 石野 毅

キーストーンアライアンス メンバー紹介 ～東京編～

イーエフピー株式会社 代表取締役 花田 敬(ハナダ タカシ)

Q1

理念、信念、モットー

「価値の創造」「社員は経営者であれ」「やっちはいけないこと以外、すべてやる」
この3つがイーエフピー株式会社の経営理念です。
経営の心を持って新しい価値を生み出すためには、とにかくやってみる。と言うことです。

Q2

最近感動したこと

娘が今年ハワイで結婚式をしました。その時にバージンロードを娘と腕を組んで歩いたことです。「娘が巣から飛び立った」という感覚でした。いつかは来ると思っていたのですが、とても感動しました。

Q3

自慢の能力

毎週、大学の講義90分を5年以上も続けていること。大学生相手に営業の授業を行っていますので、授業中に眠らないように工夫しています。

メッセージ

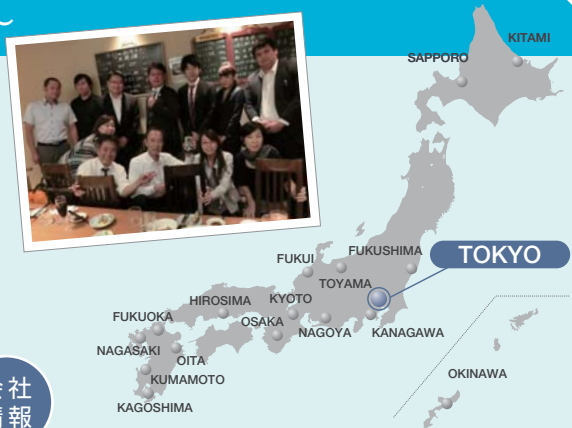


私は、「金銭教育は社会貢献」、「営業教育は社会貢献」だと思っています。小学校から大学まで金銭教育を受ける機会がありません。しかし、社会人になれば、お金を使うことになります。しかも、金銭教育を受けていない人はお金のことは知りません。この問題を解決するために、マネーセミナー講師を育成する事業を弊社で行っています。また、文系大学の70%が営業職に就きますが、学生時代に営業の勉強をする機会がありません。大学に経営学部はありますが、営業学部はないのです。弊社では、営業を教える人材を育成する事業も行っており、私は大学で「営業の授業」もしています。これからも「金銭教育」「営業教育」をテーマに会社を経営して行きます。

会社情報

イーエフピー株式会社

住所:〒103-0012
東京都中央区日本橋堀留町1-7-7 MID日本橋堀留町ビル7F
TEL:03-5651-9670 FAX: 03-5651-9690
URL:http://www.e-fp.co.jp/



新たに
東京オフィス
開設いたします

2015年は、キーストーンにとっても大きな変化の年となりそうです。

東京進出の目的は、ご契約をいただいている関東を中心としたお客様へのフォロー体制の充実を図ること。これまでにない形の相続・事業承継のコンサルティングを中心にじっくりとライフプランニングの相談ができるFP事務所を確立してまいります。体制作りにあたっては、長年にわたってアライアンス関係にあったキーストーンフィナンシャル株式会社代表の大坪勇二、イーエフピー株式会社代表の花田敬を経営のパートナーとして迎え入れ、有能なFP人材の発掘・採用に力を注いでまいります。

両社は保険セールスパーソン、FP向けの教育ビジネスを手掛けており、昨年より定期的に私が講師を務めている「相続資産コンサルタント養成講座」の開催・運営にも携わっておりますので、相続対策のコンサルティングができるFPを育成・採用する流れもできあがりつつあります。

今後は老後をいかに不安のない明るいものにするか、人生の集大成といえる相続・事業承継の問題にどう取り組んでいくかが、ライフプラン上の大きな課題となってきます。当事務所が年間100件を超えるご相談から積み上げ、培ってきた相続・事業承継対策のノウハウをさらに深め、新たに加わるFPとともにお客様に安心して金融資産・生命保険・不動産など資産全般にわたってご相談いただける組織を整備してまいります。

当面は、日本橋の人形町にあるイーエフピー株式会社の一角を間借りし、オフィス長の津曲巖(ツマガリイワオ)と白須由紀子(シラスユキコ)の2名で業務を行います。また、石野も頻りに東京オフィスに出向き、ご対応をさせていただきますので、関東にお住まいの方は是非お気軽にお声掛けください。現在都内で物件を探していますので、本ニュースレター春号をお届けする頃には、新オフィスのご案内もできるかと思っております。

まだまだ東京では事業立ち上げの段階ですが、今後のキーストーンの動向にどうぞご注目ください。

(株)キーストーン (株)キーストーンFPコンサルタンツ 東京オフィス

住所: 〒103-0012 東京都中央区日本橋堀留町1-7-7 MID日本橋堀留町ビル7F

(東京メトロ日比谷線・都営浅草線 人形町駅A5出口より 徒歩3分)

TEL: ☎0120-140-439



キーストーンライフナビ通信発行元

株式会社キーストーンFPコンサルタンツ
〒531-0072 大阪市北区豊崎3-9-7 いすみビル5F
発行責任者 石野 毅

あなた様からのお問い合わせやご意見・ご感想お待ちしております。返信用封筒、E-mail、FAXをご利用ください。

TEL ☎0120-140-439 FAX ☎0120-707-139
E-mail info@kanameishi.com URL http://www.kanameishi.com

私の20年日記

～あの頃があるから今がある。 今の自分が10年後のワタシを作る～

A1 2003年に仕事で独立したのを機に時間の使い方を工夫するようになりました。家庭、趣味、仕事をバランスよく充実させるために無駄な時間を極力なくすことを以前にも増して考えて毎日を送っています。

A2 10年後は60歳を過ぎています。60歳を過ぎて(70歳を過ぎて)新しいことに挑戦し続ける気力・体力を持ち続けたい。その為にも健康の維持、増進のための時間を増やし、仕事量は少し抑えて、趣味の時間をたっぷり。限られた時間を縫って鍛錬し、好きなこと分野で一流になることが目標です。趣味のゴルフに一層磨きを掛けたいと思います。

A3 自分は新しい年を毎年期待と不安が入り混じった感情を持って迎えます。辛いことも、楽しいことも永遠に続くことはありません。一喜一憂することなくしっかり地に足を付けて素晴らしい年にしたいと思います。



株式会社ブレインネット
代表取締役 花岡 正幸

東京

全国のキーストーンアライアンスメンバーに聞きました。

Q1 この10年間で変わったこと Q2 10年後、理想のライフスタイルは? Q3 私にとっての2015年

A1 2009年に出版したこと。それがきっかけで会社を設立し保険営業マン・FP向け教育ビジネスを開始した。現在、自社の他、3つの協会と4つのビジネス講座を運営、著書は4冊になった。

A2 5年以内に自社と協会の運営はスタッフに任せて、私はそこから手を引いている。6年目以降は、今まで培ったネットワークと経験を生かして、まったく新しいことに挑戦している。例えば今強烈にやりたいと考えているのは、日本人向けアジアでの起業スクール運営と、劇画の原作。

A3 あらかじめたてた事業計画と人生計画通りに進むだけ。それによると2015年のテーマは、これはという人を発掘、プロデュースし成功させること。数々のスターを受講生たちから誕生させる予定。



キーストーンフィナンシャル株式会社
代表取締役 大坪 勇二

東京

名古屋

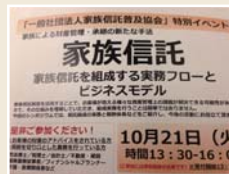


株式会社リアルトラストプランニング
代表取締役 水野 真治

A1 2005年12月にソニー生命から独立して乗合生損保代理店とFP事務所を設立しました。最初は不安もありましたが不動産FPとしての夢もありましたので独立して良かったと思います。そんな中、土地活用として戸建賃貸の提案を始めて6年になります。顧客から相続対策として喜んでいただいております。

A2 当然現役で仕事もバリバリしていると思います。ただ、現在と違うのは組織(チーム)で顧客を守っていると思います。これから理想の組織(チーム)作りを目指して行こうと思います。併せて趣味、生きがい、健康については50歳から始めたマラソンとダイビングです。どうしてこの年でとよく言われますが、この年齢から始めたからこそ価値があると感じています。

A3 相続元年としてエンディングノート書き方セミナー、家族信託がキーワード。そのためには士業の先生方や各専門家とのコラボが必要です。昨年後半から「家族信託」のセミナーが多く開催されておりますが、まだ始まったばかりでまともに契約手続きができる士業の先生方も少ないのが現状です。だからこそ、我々が先駆的に取り組んでいきたいと考えております。



大阪



株式会社キーストーンFPコンサルティング
代表取締役 石野 毅

本誌でハワイ紹介記事を書いていただいた(株)カインハレ・ハワイの三田社長(写真右)のホノルルオフィスにて

A1 仕事一辺倒だった私に大きな変化を与えてくれたのは、北米、ハワイ、新興アジアの各国を見て回った経験でした。海外は旅行で行くところという発想から、ロングステイや永住という選択肢が加わり、現地の人と交流する、暮らすという視点を持つことが出来ました。

A2 仕事半分、プライベートライフ半分のハーフリタイア生活。心おきなく過ごしたいので、それまでに事業承継者をきちんと育てます。仕事量は減らしますが、生涯現役で。プライベートでは、海外・国内を問わず旅行とグルメと適度な運動(フィットネス?)三昧の日々を送ってほしいですね。

A3 今年は、東京にもオフィスを構え、ある意味勝負の年だと思っています。従来にない相続・事業承継を中心としたFP事務所の確立に向けて、スタッフやアライアンスパートナーを増やして、少子高齢化が一層進む日本に一定の存在感を世に示していきたいと考えています。

東京

A1 現在6歳の娘と2014年7月生まれの息子0歳の子育て中真ん中です。約9年前に独立し、7年前(46歳)に結婚しました。40代半ばまで独身だったので、この10年は人生の激変期となりました。プライベートは、そのほとんどを家族と共有する貴重な時間と考えるようになりました。

A2 10年後は60歳を過ぎていますが、子供の年齢を考えると現役で仕事をしながら子育て続行中と考えられます。年に1~2回程度は海外旅行か国内旅行に行くことを目標としたいです。また、海外で仕事ができるスタイルを確立し、子供の語学勉強の為にロングステイをしてもいいかも。それができれば、公私ともにより変化のある生活が送れるのでは、と思っています。

A3 生涯現役で働きたいので、仕事と家庭のバランスがとても大切になると感じています。仕事においては、より専門性を高める為に、特に金融・不動産についての勉強を強化したいです。生活面では、アンチエイジングを含めた基礎体力維持が必要だと感じているので、この1年は充実した基礎体力向上メニューを作り上げたいと思っています。50代の子育てパバは、まだまだ頑張ります!!



株式会社ドリームゲイツコンサルティング
代表取締役 杉山 隆悦

福岡

A1 家族で海外に目をむける機会が増えました。子供達は、香港やマレーシアでの短期留学等を経験することにより、海外に対する意識に変化があったように思います。海外で様々なことを経験することで、日本の良いところ、良くないところを客観的に見ることが出来るのではと考えます。昨年の夏は、パリに滞在し、多くの美術館巡りをしたり、パリサンジェルマンのサッカーの試合を観戦することが出来ました。実際に生で見ることの大切さを、あらためて感じる事が出来、子供達にとっても良い経験となりました。

A2 家族で今まで以上に視野を広げ、多くのことを感じていきたいと思っています。

A3 独立して10年の節目の年になります。今まで以上に皆様のお役に立てるよう、世界に目をむけて、生の情報をお届けいたします。読者の皆様にとって、更に素晴らしい1年になりますようにお祈りしております。



キーストーン
コンサルティング株式会社
代表取締役 廣谷 信幸



息子3人、エッフェル塔の前にジャンプ!の図